

## 2018年度応用生命科学部卒業時アンケート調査結果

応用生命科学部では、卒業論文発表後に、卒業生 131 名（応用生命科学科 104 名、生命産業創造学科 27 名）を対象に卒業時アンケートを実施しました（回答率 82%（応用生命科学科 90%、生命産業創造学科 51%））。以下、アンケート結果を御報告いたします。

設問 1 では、本学部のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に沿って、学生本人が向上したと考える能力について伺いました。応用生命科学科では、回答者の半数以上の学生が、“科学的知識・技能”と“プレゼンテーションの能力”を挙げました。逆に、“論理的に思考する能力”、“課題を見出す能力”、“課題を解決する能力”、“情報収集能力”を挙げた学生は半数以下に留まりました。これらの能力は、設問 2 で 7 割以上の学生が在学中に力を入れたことに挙げた“卒業研究”を行う上で最も必要な能力であると考えられます。このことから、教員が知識や技術を教え、それを元に学生が卒業研究を真摯に行ってはいないものの、教員が学生の興味・関心を喚起して、それを元に学生が自ら動いて積極的に卒業研究を行う状態にまでは至っていないと考えられます。今後、3 年生の秋に卒業研究を行う研究室に配属される以前に、より能動的に学修や議論をする仕組みを作ると同時に、卒業研究では得られた実験結果に対して、学生が文献情報を元に深い考察ができるように誘導する必要性を感じています。

一方、今年初めて卒業生を輩出した生命産業創造学科では、学生本人が向上したと考える能力について、7 割以上の学生が“論理的に思考する能力”を挙げました。しかしながら、“食品・環境・生命産業、林水産業の経営課題に取り組む能力”について挙げた学生はほとんどおりませんでした。この点については、来年度はカリキュラム編成で経済・経営の講義をより充実させることが決まっていることから、得られた知識や論理的思考能力を経営に活かせる能力を涵養することができるようになると期待しています。

設問 3-5、7 では、大学の施設や教職員、アドバイザー制度の良かった点や改善すべき点について、貴重なご意見をいただきました。今後、これらのご意見を参考にし、よりよい大学づくりに取り組んでいきます。

設問 6 にあるように、応用生命科学科の 84%、生命産業創造学科の 93%の学生が新潟薬科大学に在籍して満足して卒業してくれたことは、実に喜ばしく、教職員の励みになります。

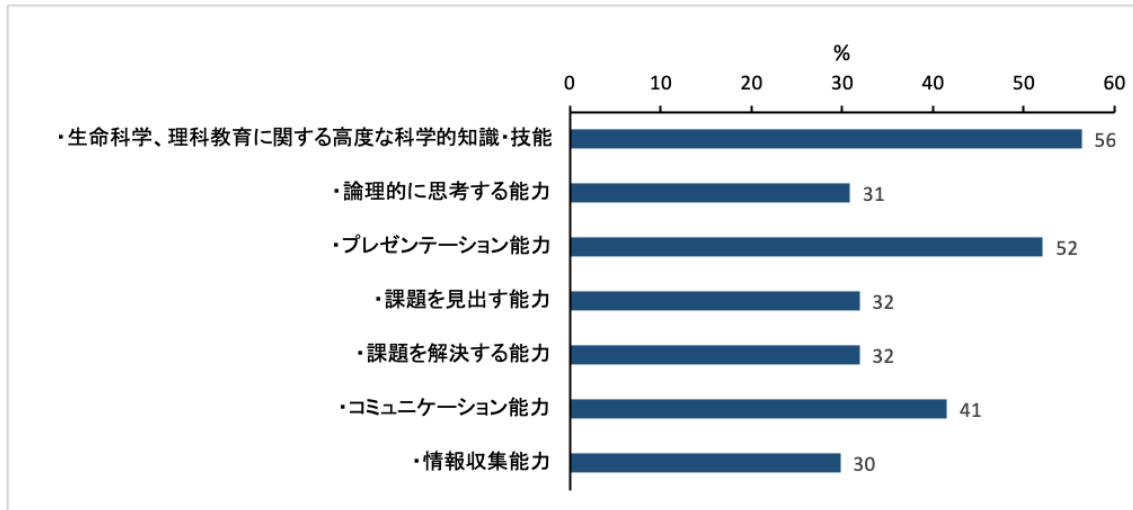
最後になりますが、卒業生の皆様には、本アンケートにお答えいただきましたことに対し、厚く御礼申し上げますとともに、益々のご活躍を祈念いたします。

応用生命科学部 FD 委員会

### 【設問 1】

大学で向上したものをチェックしてください（複数選択可）。

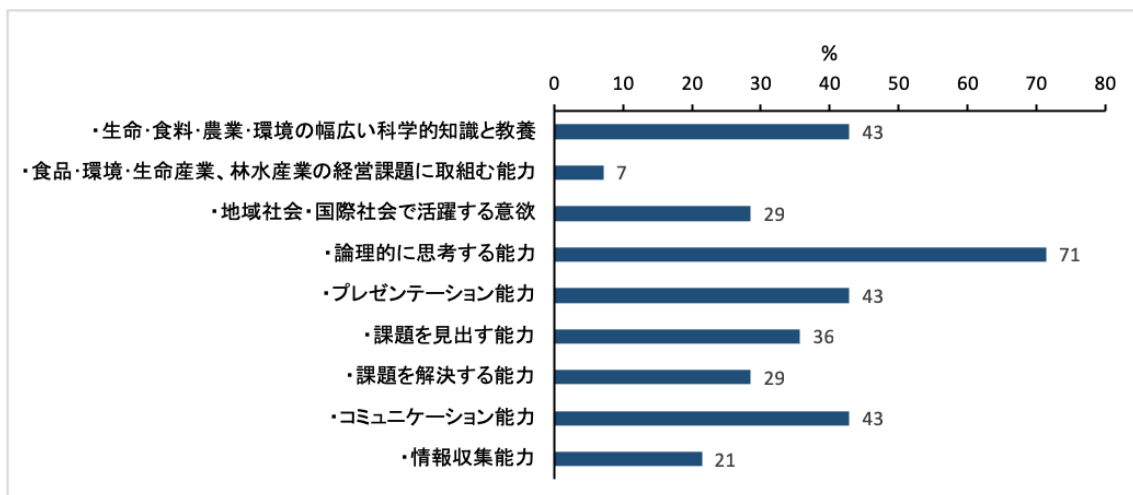
#### 【応用生命科学科】



#### 【その他】

- ・ 常識、マナー、日常的な物事に対する知識
- ・ 教員になる力

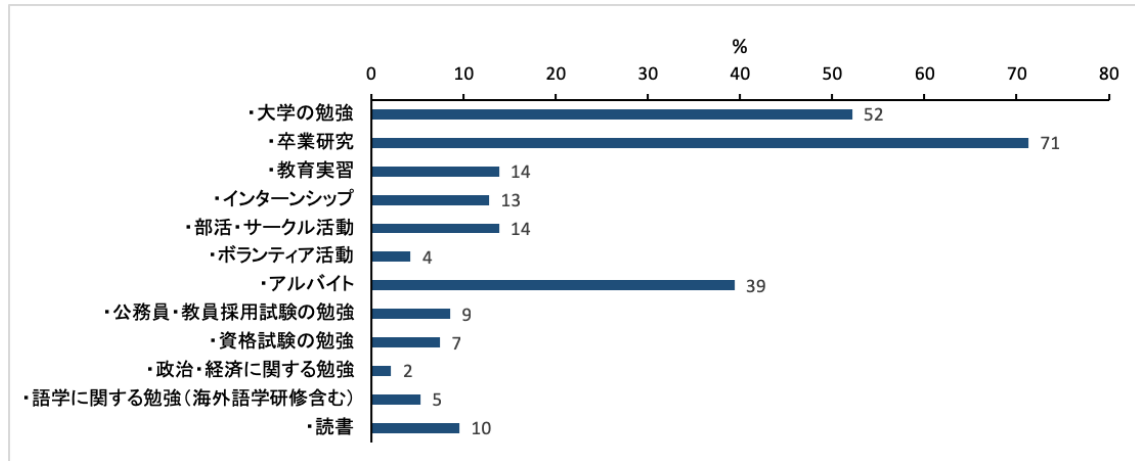
#### 【生命産業創造学科】



## 【設問 2】

大学在学中に力を入れたことをチェックしてください（複数選択可）。

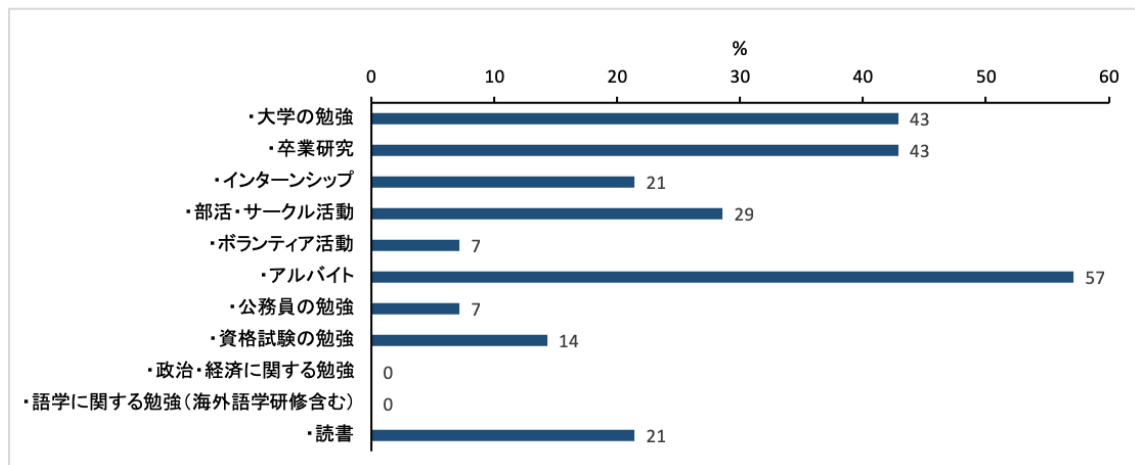
### 【応用生命科学科】



### 【その他】

- ・ 趣味

### 【生命産業創造学科】



### 【その他】

- ・ なるべく多くの外部の方々と関わること
- ・ 就職活動
- ・ プロジェクトとゼミ活動

### 【設問3】

大学内の施設（講義室、実験室、研究室、図書館、体育施設、カフェテリア、購買、トイレ、喫煙所、駐車場、その他）で、良かった点や改善すべき点があれば挙げてください（自由記述）。

#### 【応用生命科学科】

##### ○肯定的意見

- ・カフェテリア、講義室、実験室（きれいで使いやすい）。
- ・トイレ（きれい）（4名）。
- ・図書館（ノートパソコンの貸し出し。（2名）、新聞記事の印刷）。

##### ○否定的意見

- ・事務室（営業時間の延長（5件））。
- ・カフェテリア（営業時間の延長、席取りと混雑の解消（5件）、弁当販売時間の延長、狭い）。
- ・講義室等（室温の偏りの改善、テスト時の講義室正面への時計の設置）。
- ・情報実習室（営業時間の延長、印刷機の消耗品のこまめな補充）。
- ・購買（品揃えの充実）。
- ・体育館（施設の充実）。
- ・トイレ（すべてのトイレにウォシュレット・ジェットタオルの導入、トイレトペーパーの紙質の改善）。
- ・スクールバス（春休み期間の増便）。
- ・図書館（一日遅れの印刷、図書館の入退室ゲートの改善（3件））。
- ・駐車場（制限の撤廃）。
- ・その他（イルミネーション不要、2階テラスへの照明の設置、喫煙所の配置場所の変更および受動喫煙防止、ATMが少ない、部室へのエアコンの設置、喫煙所への屋根の設置）。

#### 【生命産業創造学科】

##### ○肯定的意見

- ・講義室やトイレ、ゼミ室等がきれい。

##### ○否定的意見

- ・東キャンパスへ駐車場と喫煙所、学食の設置。
- ・新津駅東キャンパスのカフェスペースを学生が利用できないため改善してほしい。
- ・研究室への入退室システムの設置。
- ・冷水器の設置。

#### 【設問 4】

事務室（学生支援課、教務課）、キャリア支援室、図書館、保健室、学生相談ルーム、カフェテリアの担当者や教員の対応で、良かった点や改善すべき点があれば挙げてください（自由記述）。

#### 【応用生命科学科】

##### ○肯定的意見

- ・ 学生相談ルームに精神面等で助けられた。
- ・ キャリア支援が充実していた（8名）。
- ・ 事務職員の対応がよかった。

##### ○否定的意見

- ・ 事務室、キャリア支援室の対応の改善（個人情報の管理、対応の一元化）。
- ・ キャリア支援室の認知度の向上、支援方法の改善。
- ・ webmail の認知度の向上と確認の徹底を入学時に行う必要がある。
- ・ 緊急時や重要事項等の連絡の迅速化（2名）。
- ・ 図書館の職員の対応の改善。

##### ○対応済みコメント

- ・ カフェテリアの調理者の衛生意識の向上  
対応→学生支援課より、調理の際の衛生管理の徹底を行った。

#### 【生命産業創造学科】

##### ○肯定的意見

- ・ 事務職員の対応がよかった。
- ・ 事務室、キャリア支援室の対応がよい。

##### ○否定的意見

- ・ キャリア支援の充実(先例の提示など)。
- ・ 卒業論文提出方法の情報共有の徹底。

### 【設問 5】

アドバイザー制度（アドバイザーコンパ、各種相談への対応、成績表の配付、保護者面談会の対応等）について、良かった点や改善すべき点があれば挙げてください（自由記述）。

#### 【応用生命科学科】

##### ○肯定的意見

- ・ 交流・相談できてよい（4名）。
- ・ アドバイザーコンパ縦と横のつながりができてよい（5名）。

##### ○否定的意見

- ・ アドコンの有無が研究室によって異なる。
- ・ 1年生以外は不要（教員の負担軽減）。
- ・ 必要性をあまり感じなかった。

#### 【生命産業創造学科】

##### ○肯定的意見

- ・ 要望に丁寧に対応していただいた(2名)。

##### ○否定的意見

- ・ 先生の忙しさによって対応の差が存在する点の改善。

##### ○対応済みコメント

- ・ アドバイザーを他学科ではなく、所属学科の教員にするべき。

対応→学科創設当初から所属学科の教員がアドバイザーを勤めているが、当該教員が駅東キャンパスに確実にいる時間を明確に伝達するようにする。

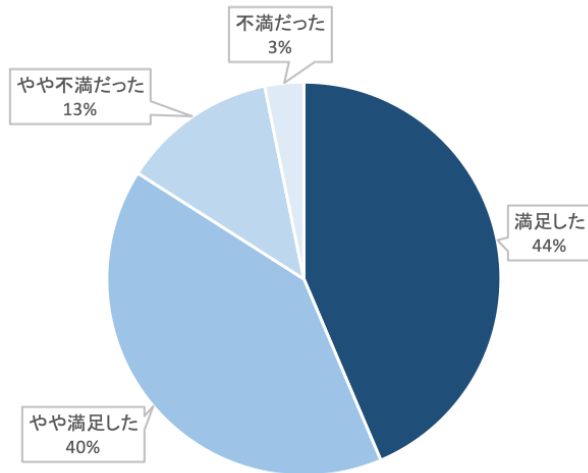
- ・ アドバイザー、研究室教員の変更が多すぎる。

対応→次年度から専任教員を増員する。

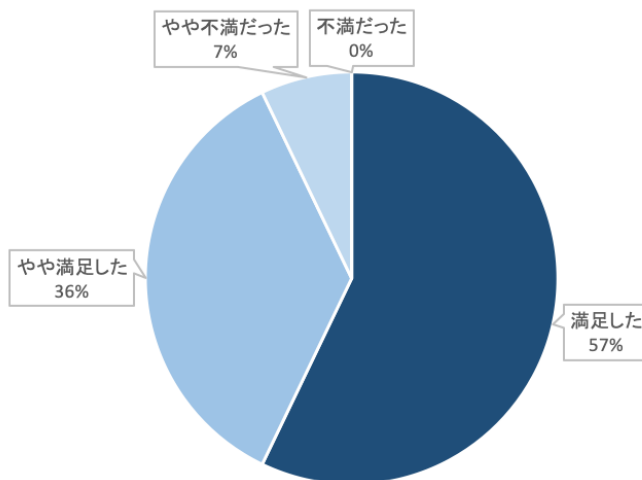
### 【設問 6】

総合して、新潟薬科大学に来て満足しましたか？コメント欄には回答した理由を自由に記述してください。（必須）

#### 【応用生命科学科】



#### 【生命産業創造学科】



#### 【理由】

##### 【応用生命科学科】

- ・正直ここ以外に進学していたらドロップアウトしていたらと思うので感謝してます。
- ・最初は不安だったけれど、多くの友達に支えられて一生の仲間を作る事が出来てとてもよい学校生活でした。
- ・自分のしたかったことは概ねすることができた。
- ・この大学、研究室に入らなければわからなかったことが沢山あったからです。

- ・知識や技術が向上してよかったです。過ごしやすい環境でした。
- ・家から近かった。
- ・教師と生徒が近い学校であると感じた。
- ・一生の友人に会えた
- ・資格によるスキルなどが欲しかった。
- ・食品について幅広く学べたこと。これからの仕事だけでなく、日常生活にも活かせる知識を身に着けることができた。
- ・将来について明確になったから。
- ・サークルとか楽しかったです
- ・楽しかったので

### 【生命産業創造学科】

- ・講義内容は比較的容易なものが多く、単位もそれに伴い得やすかったので、講義で苦しむことはあまりなかったように思えます。ただ、表面的な知識に留まることも多々あったので、もう少し深みが欲しい、実用的な内容に触れたかったのもあります。また、個人が自由に使える時間については、かなりあったので、外部へ主体的に学びたい学生においては、かなり良い環境にあったのではと思います。
- ・変な人もいたが、良い友達とも出会い、興味のある分野について学ぶことが出来た。
- ・生産創のみんなに出逢えたから
- ・理系の知識を文系のやり方で活かす手段を学ぶことができた。また、今後の社会人生活役立つ思考法やプレゼンのやり方、フィールドワークを実践することができたので入って良かったと思う。
- ・全体的には広く浅く学ぶという印象だった。興味のある分野を深く学びたいという人には不向きな大学だと思う。就活も放任、卒論も放任なので、自分自身でアクションを起こして取り組んでいくという感じだったが、その点は逆に、行動力、自分で考える力が付くのでよかった。一番不満を感じたのは、選択できる授業科目の幅が少ないこと。各授業そのものは広く浅く学ぶのにもかかわらず、幅広い科目の中から好きな科目を選べるというわけでもないの、ほぼすべての授業科目を必須で受けることになってしまう。選択と書いてあっても、選択できる授業が少ないので、必須になる。
- ・私は食に関するビジネスが学べるからという理由で生命産業創造学科を志願しました。実際に入ってみると、座学ではなくグループワークが主体の講義が多く、コミュニケーションの点で苦労しました。大学生活で苦労しましたが、あまり得意ではなかったプレゼン能力や仲間との協調性等を学べたことで、苦手意識は少なくなりました。そのため、生命産業創造学科に入って良かったなと感じています。



### 【設問 7】

その他、ご意見、ご感想があれば自由にお書きください（自由記述）。

#### 【応用生命科学科】

- ・ 佐藤先生、久保田先生、櫻井さん、ご指導ありがとうございました。最後の最後でご迷惑かけました。ありがとうございました。
- ・ カフェテリアの利用はもう少し改善したほうがいいと思います。
- ・ 充実した4年間だったとは言えませんが、少なくとも有意義な4年間ではありました。
- ・ 卒論の日程が辛かったです。

#### ○対応済みコメント

- ・ インフルエンザ等、学生の責に帰さない事由によって再試を受ける際、そうでない場合の追試と同等の費用負担（2,000 円）と点数の上限（80 点満点）になることを変更すべき。  
対応→2018 年度後期より、学生の責に帰さない事由による再試では、費用 1,000 円で 90 点満点の試験を実施している。

#### 【生命産業創造学科】

- ・ 4 年間、大変貴重な経験を得ることができ、自分の軸を再確認することができました。本学で学ぶことができて良かったです。ありがとうございました。
- ・ お世話になりました。